

大気微量成分の濃度分布を「見える化」する手法の開発

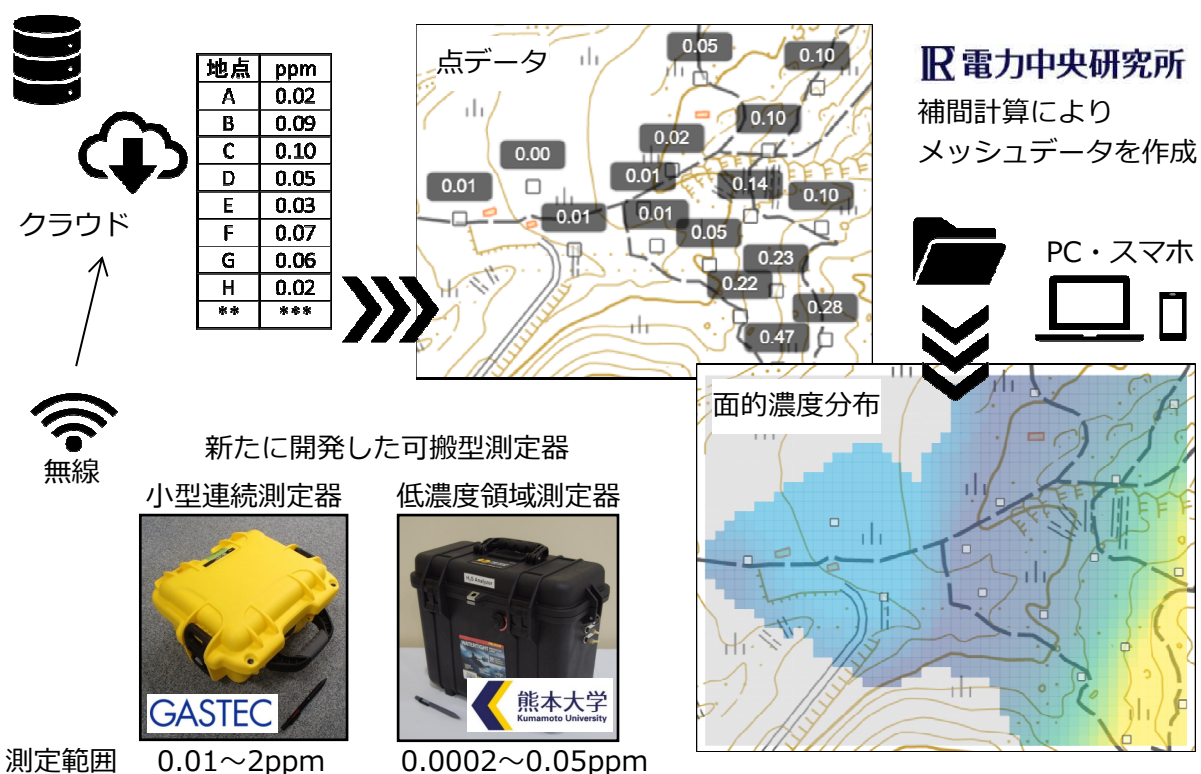
(東北緑化環境保全株式会社) ○岡田真秀

キーワード： 硫化水素、見える化、環境測定

研究の概要

NEDO「IoT 硫化水素モニタリングシステムの開発」では、濃度分布をリアルタイムに視覚化する手法を開発し、実証試験を実施中です。

期間：2025年9月～10月（予定） 場所：函館市恵山
内容：約500m四方の範囲内16地点の連続測定データと濃度分布を表示
表示：10分ごとに更新される1時間平均値の分布をPC・スマホで閲覧可能
対象：これまで屋外では連続測定が難しかった1ppm未満の硫化水素



今後の展開や産業利用

- ・主に地熱発電所を新規計画する際に硫化水素ガスの影響有無について地域にわかりやすく説明できるようになることを期待されています。
- ・小型連続測定器は2026年度から販売開始、低濃度領域測定器は2025年度に試作完了予定です。

メッセージ

- ・展示ブースでは実証試験の実際の画面をご覧ください。ぜひブースにお越しください。
- ・その他、現地に設置しているものと同様の測定器も展示しております。